



**完璧なるデビュー: 新型シロッコ GT24がワンツーフィニッシュ**  
**2008年ニュルブルクリンク 24時間レースでクラス優勝獲得**

【ウォルフスブルグ、2008年5月25日】

フォルクスワーゲンの新型シロッコ GT24が、20万人の大観衆の見守るニュルブルクリンク24時間レースにおいて、1-2フィニッシュでレースデビューを果たしました。325馬力の2.0T-FSIエンジンを搭載したレーシングバージョンのシロッコ GT24のステアリングを握ったのは、ドイツポロカップの2005年度チャンピオンで、同年秋には来日してゴルフGTIカップジャパン最終戦で優勝した経験も持つジミー ヨハンソン選手(S=スウェーデン)を始め、フローリアーン グルーバー(D=ドイツ)、トーマス ムッチ(D)、ハンスヨアヒム スタック(A=オーストリア)の4選手。またカルロス サインツ(E=スペイン)、ジニエル ドゥピリエ(RSA=南ア)、ディーターデッピング(D)そして再びハンスヨアヒム スタック選手がドライブする同じシロッコ GT24とともに、2リッターターボエンジン搭載車によるクラスで1位と2位のポジションを獲得しました。全参加台数219台、そして多数のもっとパワフルなスポーツ&ツーリングカーを抑え、総合でも11位と15位を占めました。更にフォルクスワーゲンブランドの開発担当役員のDr.ウルリヒ ハッケンベルク(D)を筆頭にベルント オストマン(D)、マティアス マルメディ(D)、アルトフリード ヘーガー(D)のドライブする3台目のクーペがクラス5位、総合でも32位でゴールし、今年の8月から欧州で販売が開始される新型シロッコの、初レースでの成功を締めくくりました。

Dr.ハッケンベルクは「新型シロッコにとって素晴らしい結果となった。24時間レースにおけるクラス1-2フィニッシュと総合11位という結果は、このフォルクスワーゲンの新型クーペが持つスポーティなダイナミクスと高い信頼性を裏付けることが出来た。モータースポーツ界でも最もハードなレースの一つで、発売前のシロッコを走らせるという野心的で勇敢なプロジェクトを支えてくれた全ての関係者に感謝したい。」と語りました。フォルクスワーゲン モータースポーツ代表のクリス ニッセンも同様に、「レースシロッコはわずか75日間で開発、製作、テストの全てをこなさなければならなかった。世界で最も過酷なサーキットを初めて走らせて、3台のレーシングカーを大きなトラブルも無く完走させた事が、このチームの素晴らしいパフォーマンスを雄弁に物語っている。」と満足気に語りました。

2リッターT-FSIエンジンとDSGを搭載したFFのレースシロッコをドライブした11名のフォルクスワーゲン ドライバーの一人、フォルクスワーゲン グループのモータースポーツ代表ハンスヨアヒム スタックは「シロッコのような全く新しいクルマが、このように速さと耐久性を併せ持っていることは、まさにセンセーショナルだ。」と興奮気味に語りました。WRCで2回のチャンピオンに輝いたカルロス サインツは自身初の24時間レースに参戦し、「ニュルブルクリンクでのレースは純粋なチャレンジだった。しかしシロッコはウェットでもドライのコンディションでも速く、そして安全に走らせることがとてもたやすいクルマだった。」と語っています。

初めてのレースを終えた3台のブランドニューのシロッコは絶大な信頼性と速いラップタイムで印象付けました。彼らは予選でも、1位、2位そして4位を記録し、レース中に予定外のピットストップはわずか3回(116号車のサーボポンプ交換、117号車のタイヤトラブル、118号車のアンダーボディ取付不良)でした。

FSI, DSGはフォルクスワーゲン グループの登録商標です。